

令和 4 年度事業計画(案)

[令和 4 年 4 月 1 日 ~ 令和 5 年 3 月 3 1 日]

【活動方針】

新型コロナウイルスの感染防止対策での生活が続いている中、多様な取引形態を行っている農業経営者は、農畜産物の需要減退に加えウクライナ情勢によって生産資材の価格高騰など、多くの影響を受けながら営農を続けています。

こうした中、国は、生産基盤である農地の担い手への集積・集約化や多様な農地利用が両立する施策を展開するほか、農林水産物・食品の輸出促進、「みどりの食料システム戦略」を踏まえた持続的な食料システムの構築、スマート農林水産業の推進などの施策をスピード感を持って着実に進めるとしています。

一方、本県農業は、“新ふるさと秋田農林水産ビジョン”において、経営力の高い担い手が持続的かつ効率的な生産体制によって農地をフル活用して、食料供給を担っていく農業の実現を目指すとしています。

こうした中、我々は、(公社)日本農業法人協会会員として創意工夫による農業経営を展開し、県内 700 余りの法人経営体のトップランナーとの自覚を持ち、賛助会員や関係機関の情報を駆使して所得を確保するほか、農業を職業として誇り、若者にとって夢や希望を託せる魅力ある産業として発展させていくことも必要です。

このため、関係機関等との業務連携を始め賛助会員の皆様の協力を通じて、会員の多様な経営スタイルに合わせた経営改善と経営安定・発展に寄与するとともに、日本農業法人協会秋田県支部として全国及び県内の仲間と共に情報ネットワークを駆使して、会員相互の連携強化や研鑽活動を展開します。

【主要活動】

1. 会員の経営力強化と相互研鑽及び会員拡大
2. 賛助会員、協定締結関係機関等との連携・協力
3. 日本農業法人協会秋田県支部活動の実施

【活動内容】

※ 新型コロナウイルス感染症の状況により変更等が生じる場合があります。

1. 会議の開催

(1) 総会(第 29 回)

令和 4 年度事業計画・予算や役員を選出等を決するため、総会を開催する。併せ

て、総会記念講演を兼ねて農業経営者トップセミナーを開催する。

- 期 日 6月21日(火)
- 場 所 秋田市 ホテルメトロポリタン秋田
- 出席者 来賓、会員、賛助会員
- 内 容

《議事》

- ・ 令和3年度事業報告及び収支決算の承認の件
- ・ 令和4年度事業計画案・予算案の決定の件
- ・ 役員を選出の件

《記念講話、情報提供》

(2) 役員会

事業計画の実施日程や内容を始め、会員拡大や活動スケジュールなどを検討するため、役員会を随時開催する。

また、令和6年度には「北海道・東北農業法人WEEK 2024 in あきた(仮称)」の開催が予定されていることから、実施に向けて万全の体制を構築する。

(3) 監査会

- 期 日 4月5日(火)
- 場 所 秋田市 秋田市旭北地区コミュニティセンター
- 出席者 監事、会長
- 内 容 令和3年度事業実施状況及び会計執行状況等について

2. 例会の開催

外部講師による講演や会員との意見交換会、若手会会員の経営事例の紹介などを通じて、会員同士はもちろん若手会員とも相互研鑽や情報交換・交流を図るため例会を開催する。

併せて、会員以外の法人経営者や地区法人組織会員との交流を通じた組織活動の強化・活性化を図る。

- 第1回 県央地区 7月26日(火)～27日(水) 秋田市
- 第2回 県南地区 9月上旬 湯沢市
- 第3回 県北地区 12月上旬 鹿角市 or 大館市

3. セミナー等の開催

(1) トップセミナー

日本農業法人協会会員や全国で活躍する農業経営者等を講師に迎えて、会員のトップマネージャーとしての経営管理能力及び生産技術の向上・発展に向けたセミナーを開催する。

- 期 日 6月21日(火) 《総会終了後》
- 場 所 秋田市 ホテルメトロポリタン秋田
- 出席者 会員、賛助会員、若手会会員 ほか

(2) パートナー研修・交流会〔若手会と共催〕

当協会若手会との共催により、若手会会員や家族並びに従業員による相互研鑽や情報交換・交流を通じた農業経営の発展と組織活動の活性化を図るため、研修・交流会を開催する。

- 期 日 2月下旬
- 場 所 秋田市
- 出席者 会員、賛助会員、若手会会員 ほか

4. 生産・経営体質強化活動

本協会と協定を締結している機関・団体や農業経営アドバイザーと連携しながら、会員の生産力や経営体質の強化を支援するほか、体質強化手法等について検討する研究会を開催し、その結果を政策提言などに反映させる取組を行う。

また、関係機関・団体等が主催するビジネスマッチングやセミナー・フェア等へ積極的に参加し、経営管理能力の研鑽を図る。

(1) 事業提携

覚書や協定を締結した関係機関・団体と適宜関係者を交えて情報交換を行うほか、連携・協力に関する活動を実施する。

①農林中央金庫秋田支店との協力 【随時】

包括的パートナーシップ協定に関する覚書（H27.6）に基づき、円滑な金融対応や人材育成、販路開拓など、会員の経営支援に向けて活動する。

②秋田県農地中間管理機構との連携 【随時】

農地中間管理事業の活用促進に向け締結した事業連携協定（H28.7）に基づき、県農地中間管理機構から農地の紹介等を受けるなど、会員の円滑な農地の集積・集約に向けて活動する。

③公立大学法人秋田県立大学との連携・協力 【随時】

県立大学と法人協会との連携・協力に関する協定（H29.9）に基づき、県立大学の研究成果の普及等を通じた会員の生産現場への支援強化や、経営力向上への連携、協力体制の構築に向けて活動する。

- 第8回情報交換会 10月下旬
- 学生（3年生）との意見交換会 11月中旬
- 秋田版スマート農業モデル創出事業コンソーシアム **新**
【総会、研究会、幹事会、専門分科会、見学会ほか】

④アドバイザーによる支援活動 【随時】

金田経営アドバイザー（秋田県立大学名誉教授）による、会員への経営課題の整理・助言など通じた経営力の強化を支援する。

(2) 研究会・政策提言

生産・経営体質の強化に向けたマーケティングや経営改善の手法等について研究し、日本農業法人協会の行う政策提言に反映させるとともに、本県農業の施策の展開に向けて県や農業団体等と意見交換を行う。

- 県農林水産部幹部との意見交換会 8月上旬 秋田市
- 全国農業協同組合連合会秋田県本部との情報交換会 11月上旬 秋田市
- 生産強化・経営強化研究会（新春放談会） 1月上旬 秋田市
- 東北農政局と東北6県農業法人組織会長との意見交換会 2月下旬 仙台市

(3) 販路拡大、交流・連携

農畜産物の利用促進と新たなビジネスの可能性を探るため、パートナーシップ協定を締結している農林中央金庫秋田支店をはじめとする賛助会員が主催するセミナー・ビジネスマッチング等や、関係機関・団体と行事を共催し積極的に参加する。

- アグリフードEXPO（オンライン開催含む）

「国産」にこだわり広域に販路拡大を目指す農業者や食品加工業者とバイヤーをつなぎ、ビジネスマッチングの機会を提供するプロ農業者たちの国産農産物・展示商談会に出展した会員を支援する。

◇商談会及びオンライン出展 時期未定 ≪（株）日本政策金融公庫主催≫

- 県産食材マッチング商談会2022

コロナ禍で販売機会の現状を打破するため、県産食品の販路開拓等を目指す農業者とバイヤー等との商談会に参加する会員を支援する。

◇商談会 7月14日（木） 秋田市

- 国内農業視察研修

会員の県外の圃場における作付体系や経営状況を学ぶため、視察研修を実施する。

◇ 1月下旬 熊谷市

- 関係機関・団体との行事共催、交流・連携

◇大日本農会秋田支会研修会 [共催予定]

2月中旬 秋田市

5. 地域貢献・会員拡大活動

地域貢献の一貫として農業への就業希望者を受入れ、農業技術や経営管理能力を高めるための人材育成に取組ほか、地域で活躍する農業法人を会員へ誘導する。

(1) 組織強化・会員拡大

会員以外の経営者との連携を強化するため、例会等への参加を呼びかけ交流を図るとともに、関係機関・団体等の催事に参加するなどして会員拡大を働きかける。

(2) 若手会への支援

当協会若手会の会員が、日本農業法人協会が主催する次世代農業サミットなどへの

参加に負担とならないよう、経費の一部を助成し支援することを目的に助成金（25万円）を交付するとともに、若手会の自主活動を支援する。

（3）雇用・人材育成

経営体質の強化に向けた人材育成と地域貢献の一貫として、国の農業人材力強化総合支援事業等を活用して農業への就業希望者を受入れを図るほか、会員で受入れが増えている外国人材の受入れ・共生についても検討する。

6. 日本農業法人協会秋田県支部活動

日本農業法人協会の秋田県支部として、同協会が行う事業・諸行事に参加・協力し、全国の仲間との情報交換と相互研鑽を積極的に進める。

なお、各種会合は、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催方法は対面とWebの併用となる場合や、開催を中止する場合がある。

（1）総会

○第44回 6月16日（木） 東京都・Web併用

（2）都道府県会長会議

○第26回会長会議 5月26日（木） 東京都・Web併用

○第27回会長会議 2月16日（木） 東京都・Web併用

（3）セミナー等

○事務局会議 4月22日（金） 東京都・Web併用

○夏季セミナー 6月16日（木）～17日（金） 東京都・Web併用

○次世代農業サミット

第9回 7月20日（水）～21日（木） 東京都

第10回 2月 東京都

○Farm Lovewithファーマーズ&キッズフェスタ2022

11月12日（土）～13日（日） 東京都

○農業技術・連携革新フォーラム2022 12月中旬 東京都・Web併用

○春季大会・春季セミナー 3月16日（木）～17日（金）

東京都・Web併用

（4）都道府県組織等との連携

北海道・東北各県組織との連携強化と若手経営者と国とのパイプ作りを行うとともに、全国の仲間との交流を促進してネットワークの拡大を図る。

○北海道・東北農業法人WEEK2022inやまがた

7月12日（火）～13日（水） 天童市

○第20回東北・北海道農業法人協会会長・事務局会議 1月下旬 山形市

○若手経営者と農林水産省との意見交換会 東京都・Web併用

【対応者：アグリ川田、藤岡農産、ファーム夢未来、イカワ改拓社、安田農園】

7. 情報提供

関係機関・団体の主催する行事を会員へ広く周知するとともに、本協会ホームページで協会活動のPRや会員個々のホームページとのリンク、FCPシートの公開による新たなビジネスチャンスの創出等に取り組む。

8. 会議等への参加

関係機関・団体等の主催する会議に出席し、本協会・農業法人として意見を述べるほか、研修会に積極的に参加し自らの経営のスキルアップを図る。

《委員等への就任：役割を分担》

- ・（公社）秋田県農業公社理事（R3.6～5.6） 宮川前会長
- ・農業経営者総合サポート事業経営戦略会議 会長
- ・秋田県農業再生協議会委員 会長
- ・秋田米新品種ブランド化戦略本部本部員 会長
- ・秋田県農業労働力サポートセンター 副会長
- ・秋田県農産物流通販売戦略推進会議 副会長
- ・秋田県6次産業化推進協議会 副会長
- ・東北ブロック6次産業化推進行動会議 構成員
- ・東北地域農業特定技能協議会運営委員会 構成員

9. その他

- ① 活動内容やスケジュールは、役員会で協議する。
- ② 会員の活動への支援や、賛助会員等の各種事業及び催事への協力を行う。

〔年間主要活動予定表は別紙〕